

殿

# 骨材試験報告書

令和 年 月

工事名：

工事場所：

試料名：コンクリート用砕石2010

福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4

株式会社 西村砂利工業

TEL : 0776-63-3120





MTGMTMT



試験番号 : A-23-5-0012-2  
受付日 : 令和 5 年 4 月 17 日

# 試験結果報告書

( 骨材試験 )  
[ コンクリート用砕石2010 ]

株式会社 西村砂利工業 殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和 5 年 5 月 15 日

JNLA 登録試験事業者  
株式会社 M・T技研 中央材料研究所  
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地



TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723

発行責任者 所長 小林 宏成





## 骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 西村砂利工業
	所在地	福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和5年4月17日
	試料採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）
	試料採取者	宮浦 勝
試料搬入日		令和5年4月17日
試験日		令和5年4月17日 ～ 令和5年5月12日

試験体種類		産地
粗骨材	コンクリート用砕石2010	福井県勝山市坂東島山系

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.07
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.58
		実積率 %	60.1
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1110	表乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.65
		絶乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.63
		吸水率 %	0.72
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	15.8
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.6
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.04
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	59.3
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	

<試験実施場所> 株式会社M・T技研 中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

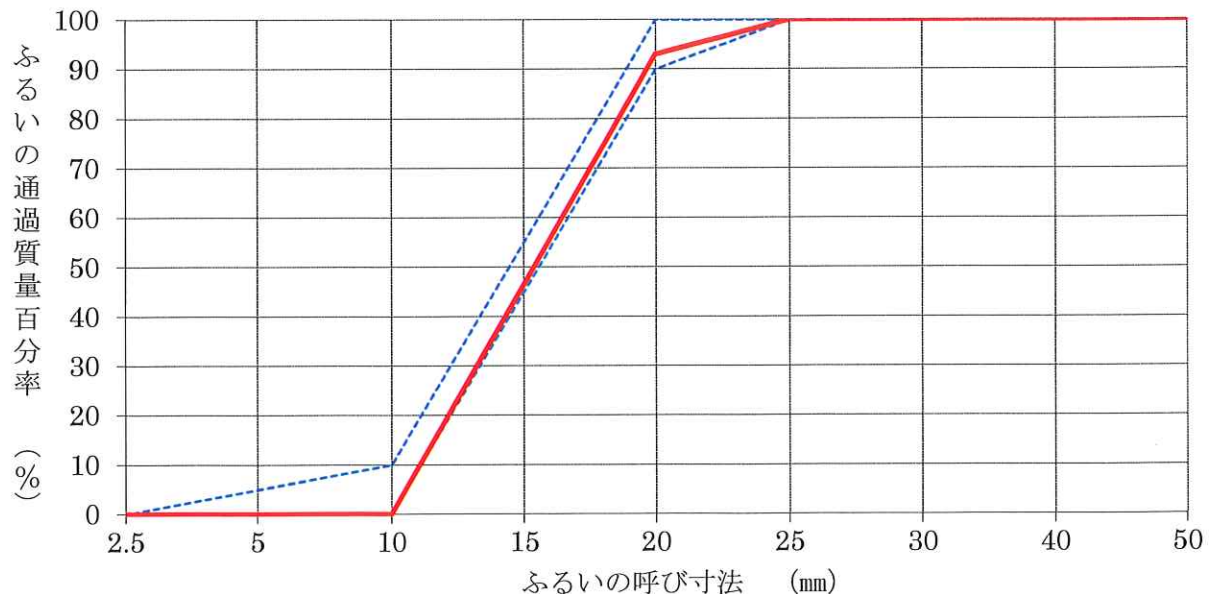
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 5 年 4 月 20 日			
試料	種類	コンクリート用砕石2010	最大寸法	20mm
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	5340	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいに とどまる質量分率 (%)	各ふるいを 通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	388	7	7	93
(15)	2015	38	45	55
10	2914	55	100	0
5	12	0	100	0
2.5	2	0	100	0
受け皿	8	0	100	0
合計	5339	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	7.07	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 4 月 20 日	
試 料	種 類	コンクリート用砕石2010	
	産 地	福井県勝山市坂東島山系	
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日	
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	$m_1$	2689.2	2666.3
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	$m_2$	2681.3	2658.2
骨材の 微粒分量	$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.3
2回の試験の平均値	(%)	$\bar{A}$	0.3
平均値からの差	(規格値:0.2%以下)		0.0

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 5 月 11 日	
試料	種類	コンクリート用砕石2010		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント (骨材堆積場)		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.398	22.389
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	15.698	15.689
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.58	1.58
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.58	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.63	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	60.1	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 4 月 28 日	
試料	種類	コンクリート用砕石2010		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント(骨材堆積場)		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	$m_1$	2602.8	2650.8
	試料とかごの水の中の見掛けの質量 (g)	$m_2$	2019.3	2051.7
	金網かごの水の中質量 (g)	$m_3$	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\rho_w$	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$D_s$	2.65	2.65
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	$\bar{D}_s$	2.65	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm <sup>3</sup> 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	$m_4$	2583.9	2632.0
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$D_d$	2.63	2.63
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	$\bar{D}_d$	2.63	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm <sup>3</sup> 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.73	0.71
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	0.72	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

## ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日		令和 5 年 4 月 28 日					
試料	種類	コンクリート用砕石2010					
	産地	福井県勝山市坂東島山系					
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日					
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）					
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m <sub>1</sub>
2.5	—	8	0				
5	2.5	2	0				
10	5	12	0				
15	10	2914	55				5000
20	15	2015	38				
25	20	388	7				
40	25	0	0				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		5339	100	H	10	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m <sub>2</sub>			4208	
すりへり損失質量		m <sub>1</sub> - m <sub>2</sub>	(g)			792	
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$				15.8	(%)



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 5 年 5 月 12 日			
試 料	種 類			コンクリート用砕石2010			
	産 地			福井県勝山市坂東島山系			
	採 取 日			令和 5 年 4 月 17 日			
	採 取 場 所			砂利プラント（骨材堆積場）			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率	(g)	(g)	(%)	(%)
10	5	12	0	—	—	3.1	0.0
15	10	2914	55	516	500	3.1	1.7
20	15	2015	38	755	724	4.1	1.6
25	20	388	7	1014	968	4.5	0.3
40	25	0	0	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		5329	100	—	—	—	3.6

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもってその群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材		
試 験 日	令和 5 年 4 月 28 日	
試 料	種 類	コンクリート用砕石2010
	産 地	福井県勝山市坂東島山系
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日
	採 取 場 所	砂利プラント (骨材堆積場)
試験前の試料の乾燥質量 (g)	$m_{D1}$	2584
試験後の試料の乾燥質量 (g)	$m_{D2}$	2583
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)	C	0.04

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

試験規格 JIS A 5005 7.6

粒形判定実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 5 月 12 日	
試料	種類	コンクリート用砕石2010		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント(骨材堆積場)		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.254	22.259
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	15.554	15.559
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.56	1.56
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.56	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 ( $g/cm^3$ )	$d_D$	2.63	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.3	

※ 砕石2005を得るための骨材の混合割合(質量比)を以下に示す。

コンクリート用砕石2010 : コンクリート用砕石1505 = 4 : 6

